

2011年度IBP-A 参加者体験談

サンノゼ州立大学(アメリカ・カリフォルニア州)

2011年8月14日～9月11日実施

1年の夏に研修に行くという、個人的にはかなり思い切った決断だったが、間違っていなかったと実感している。自分の英語力不足で先輩や先生方に迷惑をかけたが、今後の勉強のモチベーションにつながるいい経験だった。また、休日を利用してサンフランシスコやメジャーリーグ観戦に行くなど、自分たちでプランを組み行動する楽しさも味わえた。授業では、ビジネスシーンで使える実用的な英語で、大学の授業では学べない役に立つものだった。ビザを取得する手続きなど、やや面倒だったが、それもいい経験だったと思う。

(1年: 斉藤健)

毎日とても充実して過ごすことができた。暖かく賑やかな大家族で、誕生日を祝ってくれたり、様々な場所へ連れていってくれた。ホームステイ体験を通して、英語でのコミュニケーションの難しさに悩んだりしたけれど、肝心なことは言葉の完璧な表現ではなく伝えたいことを相手に懸命に伝えることなのだと思えた。素敵な体験ができ、自分の中で生涯忘れられない思い出となった。(2年)

この研修を通して、普段では絶対に体験できないようなとても貴重な経験をすることができました。授業はもちろんですが、それと同じくらい日常生活から学ぶことが多くありました。英語だけではなく、アメリカの文化、人々の考え方、生活スタイルなど多くのことを吸収できたと思います。1ヶ月は本当にあっという間で英語力が著しく上がったというわけではありませんが、今後の英語の勉強に対するモチベーションはとても上がりました。初めて留学する人にとっては最適なプログラムだと思います。(2年: 佐々木麻里)

今回訪問した企業は全体的にオープンな雰囲気を感じました。一人ひとりの使えるスペースが広く、中には個人用のオフィスが与えられている人もいました。Adobeでは、カフェテリア、運動場、ジムなどストレスを発散するための施設も多く、働く人が気持ちよく働ける環境がそろっていました。アメリカの気候、風土、食事、文化、町の様子など、アメリカに来て初めてわかることがたくさんあり、「これはアメリカの方がすごい」と思ったり、「こっちは日本の方がいい」というように、日本にいたときにはわからなかった日本の長所、短所が見えるようになりました。

(3年: 竹内優太)

